

FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：村松英昭 副会長：小宮弘一郎
幹事：後藤 功 副幹事：青島 彰

第1680回

<ソング>それでごそロータリー
<ソングリーダー> 池ノ谷敏正君



2006-2007年度
RIテーマ

率先しよう

ウィリアムB. ボイド



蝉の脱皮

写真提供：鈴木舜光君

会長報告

村松 英昭君

先日のガバナー公式訪問の際には、会員の皆様のご協力の程有難うございました。

井上ガバナーよりお礼状が届きました。27年間になるインターアクトクラブの育成ご苦労様ですと書いてありました。回覧いたしますのでお読み下さい。

毎年、夏の終わりになると、30年前の青年時代を思い出します。当時、夏の土日は、ヨット遊びに高じていました。ヨットを、仲間7人で所有し、下田港に係留していました。ヨットは、30フィート(10メートル)の外洋型クルーザーで中は6人が寝るスペースがあり、トイレ、キッチンがついていました。

いつもは、仲間とその家族、恋人等を乗せ、下田港より少し出て下田東急ホテルの下の大浦、須崎の御用邸近くの入り江にヨットを浮かばせ、海水浴をし、バーベキューをして遊びその後、沖の神子元島周辺までセイリングをして帰港していました。

ある時、下田市主催の式根島までのヨットレースがあり参加しました。しかし、悪天候のため中止になりました。その当時、みな若かったので、恐いもの知らずの私たち仲間は、悪天候の中を式根島に向け出航しました。下田港より湾外に出るとそこは外海、波は3メートルぐらゐの高さ、風はびゅうびゅう、雨は顔にふきつける状態でした。私たち初心者2名はヨットの後方で立っていました。しばらく行くと、前方の空が二色になってい

ました。灰色の空が広がりその先に黒い空が広がっていました。その境がラインによってきれいに分かれていました。キャプテンがあゝの黒い雲の中に入ると、もっと強い雨と風になるから注意なさい、そしてあのラインが前線だよと教えてくれました。

まさに、そのとおりでした。黒い雲の中に突入したと同時に今までの倍以上の雨、風でした。顔にふきつける雨は痛いくらいでした。そして、体の体温はとられ、寒さで体が震えその上、船酔いによる気持ちの悪さで立っているのがやつの状態でした。この状態をみたキャプテンに、海に落ちるから、さっさとキャビンに入ると、怒鳴られました。キャビンに入ってからが大変でした。中で横になりましたが、大波による揺れのため、頭の上から横からいろいろな物が落ちてくる、体は右に左に上下にゆらされ、バケツを抱え吐きながらの状態でした。とても休んでいるのではなく、体があちこちへいくのを手で押さえ、まさに、格闘している感じでした。

何時かが過ぎ、急に船が揺れなくなり、あれ?と思いました。着いたぞ、出てこいとの声がしました。キャビンより出て行くと、式根島の入り江近くにきていました。入り江に入ると船の揺れはなくなり、まるで、先程までの事が嘘のようでした。誰かが、船酔いの時は泳ぐとよくなると言い、私を海に突き落としました。なるほど、泳いでいたらすぐに治りました。

ふと、隣のヨットを見ますと、スイス人4人が

乗っていました。船の名前がなんと、スイスネイ
ヴィと書いてありました。ずいぶんユーモアのある
洒落た名前だと思いました。スイスには海はなく、
海軍はありません。スイス人のユーモアにふ
と微笑んだ次第でした。式根島で一泊して帰って
きました。また時間のあるときにこの話の続きを
いたします。

幹事報告

後藤 功君

- 井上ガバナーより、ガバナー公式訪問への礼状
が届いております。
- 財団法人米山梅吉記念館より、米山梅吉記念館
秋季例祭のご案内が届いております。
- 米山梅吉記念館『館報』が届いております。
- 氏原地区幹事より、クラブの有給事務職員の会
員アクセスページの登録のご案内が届いており
ます。
- 第41回藤枝市少年サッカーリーグ戦閉会式へ
の出席依頼が届いております。

出席報告

青島 彰君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
30 / 41 73.17%	28 / 41 68.29%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○青島彰君 ○仲田廣君 ○宮川君 ○望月晃君
○桜井富君 浅川君 飯塚君 板倉君 鈴木舜君
仲田晃君 望月志君

(2)メイクアップ者

水野 義猛君(藤枝南) 宮崎 啓之進君(藤枝南)
北村 幸男君(藤枝南) 松葉 義之君(藤枝南)
村松 宏一君(藤枝南) 杉山 静一君(焼津南)

スマイルBOX

副委員長 杉浦良一君

- 誕生祝ありがとう。 岩田 規君
- 誕生祝ありがとう。 杉浦 良一君
- 誕生祝有難うございました。55才(ご!ご
お!)行け・行けです。後50年頑張りたく
思います。 酒向 謙次君
- 自分でやることをクラブでやって頂き感謝感激

です。家内以上に喜んでおります。

北村 幸男君

- 夫人誕生祝ありがとうございました。

竹田 勲君

- 納涼例会は事務所メンバーも参加させていただ
き、一日楽しく過ごさせてもらいました。あり
がとうございました。 青島 彰君
- 納涼例会、孫も参加させていただき大いに楽し
んできました。有難うございました。

松葉 義之君

スマイル累計額 83,000円

会員増強委員長の卓話

委員長

青島 克郎君



本日は8月が会員増強拡大月間と言うことで会
員増強委員会が卓話の時間を担当させていただきます。

各テーブルに当クラブにおける会員数の推移を
グラフにしてお配りいたしました。

1972年に31名で創立した当クラブは19
90年まで増加の一途をたどり68名の会員数と
なりました。その後、南クラブの創立により11
名の移籍がありいったん53名まで減少したもの
の1995年には65名まで戻すことができました。

しかしその後、経済情勢の変化も起因して会員
数減少が進み本年度スタートでは41名となっ
てしまいました。

確かに当クラブだけの問題ではなくロータリー
クラブ全体の減少傾向ではありますがこのまま推
移してしまいますとロータリー活動に大きな支障
をきたすことは間違いのないところでありませ
ぬ。

私は当クラブにおいて会員増強は最も重要な課
題だと認識していますが、これは委員会だけで解
決できる問題ではなく全会員が事の重大さを共有

し取り組まなければならないと思っております。

そのようなことから今年度はテーブルメイトの各リーダーの方に推進委員となっただき活発な委員会活動を行い、できれば純増5名、最低でも純増3名は達成したいと思っております。この目標は欠席会員を多く抱えている当クラブにとって大変厳しいものです。

会員減少の根本は当クラブの在り方にあると考えてします。誰もが楽しいと思える例会か、例会以外での会員同士の友好が育まれているか、ロータリーの活動が有意義だと思っているか等々クラブの存在価値を高める事が大切だと思います。

今年度は35周年事業もあり忙しい年度ではありますが村松会長にもお願いし幾つかの同好会を発足し、より深い会員同士のつながりを作っていければ結果的に会員増強、退会防止に繋がると思っておりますので皆様の積極的なご参加を期待いたします。

この後、去る7月29日に山梨で行われました会員増強拡大委員会セミナーに私の代わりに水野副委員長にご出席いただきましたのでそのご報告をお願いし、続いてテーブルメイトAグループ成瀬君、Bグループ池ノ谷君、Cグループ望月俊昭君、Dグループ酒向君、Eグループ村松宏一君の5名のリーダーにご報告をお願いいたします。

副委員長

水野義猛君

『会員増強・退会防止及びロータリー情報セミナー』に参加して



去る7月29日(土)にRI2620地区2006～7年度「会員増強・退会防止及びロータリー情報セミナー(CLP)」が、山梨県中巨摩郡昭和町の「アピオ甲府」で午後1時から開催されました。

始めに井上雅雄ガバナーのご挨拶があり、ご挨拶の中で今年6月の1ヶ月間にこの地区で130

名余の会員の減少を来し、又、名門熱海RCが消滅してしまったと云うお話がありました。

井上ガバナーのご挨拶の後、原田道子氏(パワー浜松RC, 入会后3年8ヶ月)の進行により「会員増強公開討論会」が行われました。

討論参加者は稲葉良弥氏(三島RC)、金山土洲氏(パワー浜松RC)、唐澤護泰氏(浜松中RC)の3氏でした。それぞれのクラブの会員増強に取り組んでいる内容は、地域性を充分生かした特色のあるものでした。

私が大変印象深く、又、感銘を覚えたのは、唐澤護泰氏(浜松中RC)のお話でした。彼のお話を要約すれば、会員増強を積極的に進めるのは良いけれども、会員の質を落としては何にもならないと云う事です。クラブが特色のある誇りの持てる内容にしてゆく事が基本であると云う事です。クラブに品格が保てれば自ら人は集まってくると云う内容でした。

我が藤枝RCの会員諸兄

クラブの現状をどう改革してゆくべきか、真剣に考え、大いに討論し、一歩でも二歩でも前進すべく努力しませんか?

テーブルメイトリーダーの発表

Aグループ

成瀬弘明君



会員増強について

1. 炉辺会合開催日 8月22日
2. 候補者 2名名前があがる。
3. 意見

新規入会だけではなく、退会防止についても対応の必要あり

現在のクラブの活動状況では、自信を持って勧誘しにくい。

自信を持てる、誇れるロータリー活動

各種活動の活性化

- ・委員会活動、例会の活性化
- ・同好会活動の活性化
- ・テーブルメイト活動の活性化

コミュニケーションの基本の挨拶を確実にする。

進出企業の事業所長を積極的に勧誘する。

4. 個人的感想

会員増強委員会テーブルメイトの会合により、皆さんの色々な話を聞いてよかった。

Bグループ

池ノ谷敏正君



会員増強についてどうしたら良いか

まずは寝ている会員を起すような卓話

刺激を多くする 退会防止へ

1業種1人会員を守る姿勢をアピール

南クラブとの違いをつくる

職業で攻めたらどうか

そうさい業の方はどうか 大手に押されているようなので、誘い文句に

水曜休みの所、寿司屋等飲食店、飲み屋 ビジネスに結びつくので誘い文句に

ロータリー入会のパンフレットを作ってもら

1~2回の面識の方でも配る事で次へつなげられる

活動、会費等具体的な内容で、普通のボランティアとは違うこともPRすべき

名前が挙がれば会員の中で紹介者以外にもその人を知っている人がいるかもしれない

クラブ全体で増強に協力する

Cグループ

望月俊明君



1.開催日時 18年8月21日(月)

18:10~20:20

2.参加者(敬称略)

増田國衛、江崎友次郎、小宮弘一郎、後藤功、杉山静一、村松徳、望月俊明(欠席者 仲田廣志)

3.懇談の雰囲気

ゴルフで優勝した時の決まり文句で「メンバーに恵まれ」と良く言うが、和気あいあいとして2時間があっという間

本題以外での話題でも盛り上がり

ロータリーで行った台湾旅行で夜、旦那が別行動をして夫婦喧嘩に

本題のテーマ

江崎君、杉山君が法人会へ出席した直後、なかなかメンバーがいらないね

ライオンズクラブも会員減に悩んでいる(中日新聞の記事)

従来は入会の基準が厳しかったからその反動が現れた(一人でも反対したら入会できなかった)

非情に暗い話題が多かった

最後の方で小宮君から候補者の名前が上がった

Dグループ

酒向謙次君



会員増強について

「会員増強」という状態のロータリーに対して思う 何故に入会者が少なく、退会者が多いのか?

1.景気が良くない

2.ロータリーに魅力がない(ロイヤリティーの低下?)

3.時間(開催時間)が良くない

の3つに集約できた。

1.については、社会全体なので検討から外す

2.については、これこそが本質的問題である

3.朝、夜の開催も適度に入れることを検討する

では、本質的な2、の検討であるがこれも色々な観点から魅力というものを論じることが出来ると思いますが、我々は、「例会に出たい」という例会にするには？に絞りました。

結論は、例会に出て会員と話したい、会いたいと思うには親睦をもっと深めること、つまりは、同好会を多く作り、全員どこかの会に所属していただき、親睦を身近なところから深めるのが、一番現実的行動と考えました。アンケートをとって多くの同好会を早急に立ち上げるようにしたいと思います。同好会の開催日は、例会の行われる日に合わすと間違えなく行われるのでこれも考慮にいれると良い。

そのほかに藤枝、焼津、大井川、岡部などにある工場長など再度エリアを広げてあたること。上場会社は、本社の意向があるから社長に会長名で依頼文を作ると良い。

Eグループ

村松宏一君



2名の候補者があります。

(担当/増田)